

大代

婦人会だより

No.189

H31.1.11



新年のご挨拶

大代婦人会

副会長 渡利 マサコ

明けましておめでとーございます。皆様には健やかなお正月をお迎えの事とお喜び申し上げます。

沢山の婦人会行事を終えることが出来ましたのも、会員の皆様の協力があつてこそそのたまもの思っています。

12月2日(日)恒例の婦人会役員の皆さんが楽しみにしている忘年会が開催されました。今田さんの安来節の歌から始まって、球入れゲームや身体を動かすレインボー体操やビンゴゲーム。景品として、恒例の「私と〇〇へ行き

ましよう」の旅行券が当たったり、その中で「前に私当たったけど、行っていないよ」との声に、「では今度は一緒に行きましよう」というのもあつたりして、とても楽しかったです。食事も兼ねての会はとても和やかで楽しく、一年を締めくくる事ができました。

段々年齢も重なって、一つの行事をこなすのも大変になってきています。けれど、皆さんとおしゃべりしながら、楽しみながら一つずつ進めていけることをとても嬉しく思っています。

そして今年も平成最後の年となります。平和の願いをこめて名付けられた「平成」、4月末日まで何事も無く平和で過ごすことが出来ますよう願っています。次に続く新元号も良い年でありますように、皆で手をつないで頑張っていましよう。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



「たんぼぼ」旅行記

下市支部 永井 恵子



10月27日(土)、たんぼぼグループ参加者8人で、佐田町の須佐神社と、須佐温泉ゆかり館へと日帰り旅行しました。車2台に分乗して出発!と思いきや、井田の「モーモーフェスタ」で牛乳と卵が貰えるので寄って行くことに。美味しそうな和牛のステーキ肉、食べたいけど高いので見るだけ。

さあ、今度は本当に目的地に出発進出!でも又、途中で寄り道提案。今度は鴨山窯の陶芸祭りに。ちよつとした食事が無料で頂けるからいくことに。無料の言葉に決定です。佐田町にはいつ着くのでしょうか。

鴨山窯の器や置物の色合いがとても好きです。陶器をゆつくり見て選びました。庭に食事を用意して頂きました。一人一人違う器に、ご飯、汁物、おかずが少しずつ盛り付けられて、とてもステキでした。帰り際には、くじをして景品の器をいただきました。

空くじ無しで嬉しかったです。

今度こそは須佐神社へゴー。山の中の長い道のり、運転者さんに感謝です。須佐神社で、塩井の水を飲んだけど塩味はしなかった。当り前。塩井とは、日本海の海水が須佐神社まで流れて来ていると言われがある井戸です。大杉など神社は神秘的です。次は、ゆかり館で温泉と食事。



須佐神社にて

帰り道、途中どこか寄る所はないかな？ありました。「牧場のパン屋さんカウベル」。山の中に一軒ボツンとあるパン屋さんです。パンをかうと、プレゼントのお皿と、無料のコーヒーを頂きました。次は三瓶ワイナリー。試飲は

無しでした。これで旅の全行程終了です。

今日は、皆さんと和気あいあい、寄り道と無料がキーワードの旅でした。久しぶりに、めいっばい楽しい一日を過ごしました。

福祉弁当のボランティア

しませんか？

四日市支部 谷口 陽子



高齢化率55%を超えてしまった大代町で今も、月1回の福祉弁当作りを頑張っています。お味はいかがですか？婦人会の弁当作りは、1991年22食の弁当数からスタートしたと聞きました。一番多く弁当を提供していた時は60食あったそうです。人も多かったですよね・・・

現在は、人口も減り希望者が27食と減少し寂しい限りです。婦人会会員にも高齢化の波が襲い、休止している支部や4支部が合同で作ったり、少人数で頑張っている支部など

様々ですが、創意工夫しながら弁当作りに励んでいます。

大代の福祉弁当対象者は、75歳以上の一人暮らしの方、80歳以上の夫婦世帯の方を対象に配食しています。楽しみに待っていてくださる方も多くあり『美味しかった』の声が聞こえてくると嬉しいですね。

出来れば必要とする人には毎日でも弁当が有れば良いのですが、高齢者を対象とする配食サービスは市内だと配達はあるのですが、大代地区は対象外となっています。

現在福祉弁当は年8回提供しています。出来れば夏場2回を除き、10回は提供できるとよいと思うのですが難しいようです。

大代町の元気な高齢者の皆さん、「歳だからなんて言わないで」1時間でも2時間でも、一緒に弁当作りのボランティアをしてみませんか、参加されれば楽しい一時が過ごせるのでは？出来る人がお互いに助け合うそんな地域づくりが出来たらと思います。

「誰かのために動いてみませんか？」

★近況報告

ようしくお願
いいたします。



本郷支部 室田 佑子

新年明けましておめでとうございま
す。皆様お元気で良いお年をお迎えの
事と思えます。

私も今年は、身体の調子が良く、気
持ちの良い年を迎える事が出来ました。
平成最後の年に後期高齢者の仲間入り
です。

年を重ねるにつれ心細さは増して
来ますが、婦人会、きずな、カーリン
グ等々へ「参加しませんか？」と声を
掛けていただき、少しでもボケ防止に
なればと喜んで出掛けています。

子供に心配をかけず、元気で一日で
も永くこの土地で暮らしたいと思いま
す。地元の皆様には、これから先、色々
とお世話になる事が多くなると思いま
すが、よろしくお願い致します。

第4回家の光大会

に出席して

下市支部 今田 文子



12月8日(土)、あすてらすホールに
て家の光大会があり、大代から会長さ
ん含め5名の参加。開会式後10時より
基調講演。

演劇、講師はJAしまね女性部塩治
支部の『えんまん座』による演劇を1
時間楽しませてもらう。会員185名
の内15名の発表。「誰もやっていない
ことに挑戦しよう」を目的のもとに設
立。出雲の地域らしく七福神おどり、
寸劇など、全て部員の手作り衣装・小
道具を用意。保育園や施設他での発表
は100会場以上になるそうです。

衣装は家の光を参考に手作り。神話
の国出雲に暮らす会員だから、神さま
の風格、重厚感、神秘性を伝えられる
よう工夫をした。全国家の光大会の舞
台でみごと『志村源太郎記念賞』をも
らい、皆が円満な気持ちになれるよう
『えんまん座』とした。

踊りの振り付け、寸劇の台本すべて

を自分達の手作りにするため苦労も
多々あり、共に活動をし、仲間作りの
部でも、『家の光最優秀賞』を受賞され
た。これからも食と農の伝道師として
素人の感性で、身近な出来事を中心に
会員一同の活動目標にするとの講演で
した。

記事活用体験発表は、大屋支部の支
部長、山下純子さんの『猿にもマケズ、
猪にもマケズく谷に響くは笑い声』を
演題に、鬼岩のある大屋、大屋姫の伝
説のお話、手作り工房でジャムやお餅
等数量限定で作るよう先輩に指導をし
てもらったとの講演でした。



七福神おどり

◎文化祭農産物品評会入賞者

★特別賞

椎茸 横手 昌則
 ネギ 上村 恒徳
 里芋 笠岡 勝江



☆1等賞

白菜 笠岡 勝江
 銀杏 森 孝枝
 小豆 山根 鈴子
 大根 上村 恒徳
 キウイ 曾根シゲコ
 かぶ 田辺 幸子
 柚子 曾根 和子

☆2等賞

大根 田辺 幸子
 小かぶ 山下テル子
 柚子 谷口ミサ子
 小豆 斉藤 康子
 銀杏 山根 鈴子

❖農産物品評会❖



||俳句||

あすなろ句会



初乗りは病院通いの路線バス
 孫達の遊びたわむれ初笑

花田 時子

今田 文子

は ぞめ
 掃き初は牛舎の前のこぼれ餌
 年賀状愛犬の名も添えてあり

岩田 律枝

正月や孫は喜び煮豆食ぶ
 仕合せやゆったりつかる初湯かな

横田 美恵子

有難き日々の暮らしや初日の出
 食卓に並ぶ手作りお元日

榎原 敏子

仏壇の灯りゆらめく明の春
 ポーズとる春著の娘見とれたる

柿丸 寿枝

二日早常着で洗ふ皿小鉢

わだつみの石見国々初茜